令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	**図書館の管理運営**	担当課名	教育こども課
		担当係名	図書館
（予算書コード）	10-04-04-05-01、10-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法	直　営	
事業の開始・終了	年　月 ～　年　月　（事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	図書館法、下諏訪町立図書館条例、下諏訪町立図書館規則、下諏訪町立図書館協議会規則		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	町民を中心に諏訪広域圏の住民に、知る権利・学習権を保障し、読書・調査研究の場を提供するため、書籍・雑誌・視聴覚資料等を収集・整理・保存し、貸出・閲覧をとおして提供する。多様化する町民ニーズに応えるため、資料の充実に努める。また、子どもたちの読書を推進し、町民の読書・生涯学習の意欲を高め、親しみのある図書館にするため、様々な事業を展開する。読書にハンディーキャップのある人へのサービスの拡充に努める。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	人口一人当たりの貸出冊数	貸出し冊数／町人口 （目標値は県平均）	冊	目　標	5	5	5
				実　績	11	10	10
				達成率	220.0%	200.0%	200.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算		令和7年度決算		令和8年度予算	
事業費	事　業　費　A		37,747 千円		43,491 千円		45,405 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		10.70 人	16,851 千円	10.70 人	22,865 千円	10.50 人	25,140 千円
	正規職員人件費　B		2.90 人	20,119 千円	2.90 人	21,156 千円	2.90 人	21,767 千円
事業費合計　C（A＋B）			57,866 千円		64,647 千円		67,172 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担		千円		千円		千円
		県の負担		千円		千円		千円
		町の借入		千円		千円		千円
		その他	202 千円		223 千円		213 千円	
		うち 使用料・手数料　D		千円		千円		千円
	一般財源（町の負担）		57,664 千円		64,424 千円		66,959 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	図書館法に基づき、図書館は利用者が求めている情報・資料を無料で提供する使命を持っている。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	当館の利用者登録者数は下諏訪町民4,166人、町外の方7,230人、合計11,396人。図書館法の定めにより資料提供は無料を原則としている。対価のあるコピーサービスは利用者に費用負担を求めており、また資料の紛失・汚損等は利用者に弁償を求めている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	システム更新することで諏訪広域ネットワーク内の本の配送が効率的になり、予約された本が利用者に届く時間が短縮されている。少数の正規職員と会計年度任用職員で効率的な運営を実行しているが、専門職員の育成など長期的な視野に立った人員配置が求められる。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	A	目標値以上である	町民一人当たりの貸出数は、本年度も実績が目標を上回る事ができた。今後も図書館として良書の選書と普及、データベースを活用した資料の収集と紹介をとおして、利用者に求められる情報の提供と障がい者サービスの充実に努めたい。

総　合　評　価	**現状維持**	書店やレンタルDVD店が撤退する中、モバイルコンテンツの利用が難しい方を含め、誰でも利用できる本や視聴覚資料等を提供する図書館の役割は不可欠である。町民の幅広い要求に応えられる資料を収集し、市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」のPRも行いながら、様々な面での図書館利用者の拡大に努めていく。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	地域資料保存事業	担当課名	教育こども課
		担当係名	図書館
（予算書コード）	10-04-04-12-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法：直営 ／ 委託		
事業の開始・終了	平成 29 年 6 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	図書館法		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	未来の下諏訪町民に町の歴史的資料を残すため、下諏訪町の昔の姿がわかる写真・映像を資料として収集・デジタル化し、文字情報と共に保存する。保存された情報を、町民がアクセスしやすい形で提供していく。

事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	デジタル化した写真数	デジタル化した写真数	枚	目標	100	100	100
				実績	177	55	73
				達成率	177.0%	55.0%	73.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事業費 A		521 千円	633 千円	1,343 千円
		うち 会計年度任用職員人件費	0.30 人 376 千円	0.30 人 488 千円	0.50 人 1,198 千円
	正規職員人件費 B		0.10 人 694 千円	0.10 人 730 千円	0.10 人 751 千円
事業費合計 C（A＋B）			1,215 千円	1,363 千円	2,094 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		1,215 千円	1,363 千円	2,094 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	資料の保存は図書館の責務であり中核となって事業を行っていく必要がある。サイト登録者が自主的に撮影・登録できる仕組みにより、常に下諏訪町に関連した多様かつ新しい資料の収集が行われている。今後もこの事業を続け、資料の充実を図っていく。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	受益者は町民全体であり、また、費用負担は発生しない。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	B	検討の余地がある	サイトの立ち上げまで専任の作業者を委託、現在はボランティアによる作業が中心となっている。公開にあたり歴史的なデータの検証に時間を要する。できる範囲内で効率的な運営を行っているが、教育関係の利用も増加してきているため、恒常的な作業者確保の検討が必要となっている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	特に写真など目標を上回った点数を資料として収集できたが、資料説明の検証が完了せずサイトへの公開に及ばなかったものがあった。収集資料の用途として、図書館内での展示やテーマ別瓦版の作成配布や教育関係へのサイトのPRを考えると、より正しい資料説明が必要となっている。

総合評価	手法改善	この事業は現在、図書館運営サイト「みんなでつくる 下諏訪町デジタルアルバム」に集約されている。当町の歴史・文化を知る一助として、文化の継承と地域活性化に役立てることを目的とし、過去の写真だけでなく現在の写真の投稿をPRしながら、継続的に新しい資料を保存・検証し、教育関係にも利用できる充実したサイトを一貫して目指していく。
	手法改善の内容	資料説明の検証にボランティア（有識者）の協力をいただける体制の再構築。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	手法改善	